

## (様式6)

## 公共事業新規箇所評価調書

評価確定日(令和4年8月9日)

事業コード	R4-建-新-01		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(改築)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	道路拡幅		班 名	調整・企画管理班 (tel)018-860-2483
路線名等	(主)比内田代線		担当課長名	道路課長 伊勢 弘
箇所名	大館市二井田		担当者名	副主幹(兼)班長 菅原 昭磨
関連	戦略コード	3	戦略名	観光・交流戦略
	目指す姿コード	5	目指す姿名	国内外との交流と住民の暮らしを支える交流ネットワークの構築
	方向性コード	5	施策の方向性	高速道路等の整備

## 1. 事業の概要

事業期間	R5~R12(8年)	総事業費	20.0億円	国庫補助率	59.50	
事業規模	延長 L=4,400m 幅員 W=6.5(12.0)m (2.50-1.50-3.25-3.25-1.50)m					
事業の立案に至る背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>○(主)比内田代線は、大館市比内町の国道285号と大館市川口の国道7号を結ぶ主要地方道である。日本海沿岸東北自動車道の開通により工業団地への物流が増え、併せて工業団地の拡張など産業振興を担う極めて重要な路線であり、重要物流道路に指定されている。</li> <li>○当該区間は車道幅員が狭小で大型車同士の交差に支障をきたしており、交通事故も多発している。また、堆雪帯幅が確保されていないため、冬期における大型車同士の交差はさらに困難となっている。物流の増大及び工業団地拡張に伴う雇用拡大による交通量の増加から、交差点の渋滞が発生している。こうしたことから地元より道路整備を求める要望書が提出されており、整備の優先度は高い。</li> <li>○道路利用者及び地域住民の安全を確保するとともに、重要物流道路にも指定されている本路線の機能向上を図るため、早期に整備を実施する必要がある。</li> </ul>					
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平常時・災害時を問わない安定的な輸送路の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要物流道路の指定(H31.4.1指定)</li> </ul> </li> <li>○道路拡幅による道路機能の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・狭小幅員の解消による車両等通行の安全性向上</li> </ul> </li> <li>○右折滞留長の確保による円滑な交通の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・滞留長を確保し、右折車両の滞留による直進車阻害を解消</li> </ul> </li> </ul>					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		全 体	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度以降
	事業費	2,000,000	130,000	100,000	250,000	1,520,000
	経費					
	工事費	1,270,000				1,270,000
	用補費	500,000			250,000	250,000
	内訳	230,000	130,000	100,000		
	その他	230,000	130,000	100,000		
財源						
国庫補助	1,190,000	77,350	59,500	148,750	904,400	
内訳						
県債	729,000	47,300	36,400	91,100	554,200	
内訳						
その他	81,000	5,350	4,100	10,150	61,400	
一般財源	81,000	5,350	4,100	10,150	61,400	
事業内容			路線測量 道路詳細設計 構造物設計	用地測量 建物調査	用地補償	本工事 用地補償
調査経緯	○ 令和3年度 道路予備設計					
上位計画での位置付け	○ ~大変革の時代~新秋田元気創造プランにおける重点戦略「観光・交流戦略」を推進する事業					
関連プロジェクト等	○ 大館市都市再興基本計画					
事業を取り巻く情勢の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大館市から道路整備に関する要望書が提出されている。</li> <li>○ 大館商工会議所、大館・二井田工業団地連絡協議会ほか3団体から道路整備に関する要望書が提出されている。</li> <li>○ 工業団地の企業立地により、大型車等が増加している。</li> </ul>					
事業効果把握の手法	指標名	県管理道路における道路改築率(年度)				
	指標式	改築率(県管理道路改築済延長/県管理道路実延長)				
	指標の種類	● 成果指標 ○ 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目標値 a	52.2%(R7末)	データ等の出典	道路課調べ		
	実績値 b	51.7%(R3末)				
達成率 b/a	99.0%	把握の時期	令和4年6月			

2. 所管課の1次評価

事業コード ( R4-建-新-01 )  
 箇所名 ( 大館市二井田 )

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 車道幅員が狭い区間が存在し、大型車同士の交差に支障をきたし重傷事故も発生しているため、早期に整備する必要がある。</li> <li>○ 当該箇所は通学路指定されているが、規格に満たない歩道区間があり、安全な歩行空間の確保が必要である。</li> </ul>	35点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本海沿岸東北自動車道二井田真中ICとの接続地点であり、事故等によりIC間での通行止めが生じた際は迂回路としての機能効果が高い。</li> <li>○ 当該箇所東側の大館市板沢地区では板沢バイパスが供用されており、一連の整備効果を発揮するためには、早期の事業化が必要である。</li> </ul>	20点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 最寄りの救急医療施設である秋田労災病院へのアクセス道路であり、地域医療支援の観点からも有効性は高い。</li> <li>○ 重要物流道路に指定されており、大館・二井田工業団地や羽貫谷地・岩瀬工業団地へのアクセス道として産業振興に寄与している。</li> </ul>	9点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業の費用便益比は2.68であり効率性は高い。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・総費用の現在価値 18.7億円</li> <li>・総便益の現在価値 50.0億円</li> </ul> </li> <li>○ 計画交通量は6,100台/日である。</li> </ul>	15点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大館市より道路整備に関する要望書が提出されている。</li> <li>○ 大館・二井田工業団地連絡協議会、大館市商工会ほか3団体より、道路整備に関する要望書が提出されている。</li> </ul>	15点
判 定	ランク ( ● I ○ II ○ III )	94点
	判定ランクIであり、事業実施箇所としての優先度はかなり高く、事業を実施すべきである。	
総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留	
	評価結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、事業を実施すべきと考える。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
X	

4. 財政課長意見

意見内容	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
X	

5. 最終評価 (新規箇所選定会議)

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
事業実施は妥当である。	

6. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

計画的な実施に努める。
-------------

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

### 公共事業箇所評価基準

評価種別 新規箇所評価  
適用基準名 道路改築事業 (地域内・生活圏交通促進)

事業コード ( R4-建-新-01 )  
箇所名 ( 大館市二井田 )

#### 1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題				
	道路構造上の欠陥箇所数 ・車道幅員<5.5m ・最小半径<100m ・最急勾配>4% ・冬期堆雪巾なし	3箇所以上	17	35	2次改築事業については該当しない。
		2箇所	12		
		1箇所	7		
		該当箇所なし	0		
	道路環境上の欠陥該当項目 ・現道の混雑度≥1.0 ・走行速度≤30km/h ・現道の事故率≥50件 ・重大交通事故が発生 ・通学路指定で歩道なし ・バス路線で歩道なし	3項目以上該当	35	35	2次改築は配点35点 2次改築は配点26点 2次改築は配点16点 重傷事故発生 通学路・バス路線で規格に満たない歩道
		2項目該当	26		
		1項目該当	16		
		該当項目なし	0		
計		35	35		
緊急性	道路を取り巻く環境等				
	関連事業の有無 ・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業	あり	7	7	大館市都市再興基本計画
		なし	0		
	緊急度の高い課題の有無 老朽橋、災害危険箇所、迂回路の確保 冬期通行不能区間等	あり	7	7	渋滞の発生
		なし	0		
	同一路線の整備状況	整備済み	6	6	板沢バイパス
未整備		0			
計		20	20		
有効性	道路の位置付け				
	地域コミュニティの確保 (公共交通、公共施設・交流施設など)	該当する	5	5	秋北バス路線
		該当しない	0		
	救急医療施設へのアクセス	アクセス性向上に大きく貢献	5	4	秋田労災病院 接続する路線に救急医療施設あり
		アクセス性向上に貢献	4		
		アクセス性向上に一定の効果	3		
地域防災計画上重要な道路	該当する	5	0	指定なし	
	該当しない	0			
計		15	9		
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	10	10	B/C=2.68
		1.0未満	0		
	計画交通量	1,000台/日以上	5	5	6,100台/日 (起点~二井田真中IC) 3,400台/日 (二井田真中IC~終点)
		500台/日以上1,000台/日未満	3		
		300台/日以上500台/日未満	1		
300台/日未満		0			
計		15	15		
熟度	地元の状況				
	地元ニーズ	要望あり	10	10	大館市要望書
		要望なし	0		
	地元の協力体制	あり	5	5	大館商工会議所 (ほか4団体 要望書)
		なし	0		
計		15	15		
合計			100	94	

#### 2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	判定ランク I であり、事業実施箇所としての優先度はかなり高く、事業を実施すべきである。
II	優先度が高い	60点以上80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		